

分からないことは、そのまましておかない！「何となく分かっている」と逃げるので

はなく、具体的にしなければいけません。何事も“なんとなく”では進みませんよ。

「何となく」の落とし穴

仕事柄、薬剤師国家試験対策の指導・勉強方法はもちろんのこと、いろいろな試験対策の指導をしています。気がつけば学習指導歴も云々。指導に明け暮れる毎日ですが、昨今、学生さんを指導していて気になることが一つあります。「分からないことを放っておく学生さんが多い」ということ。なぜ、分からないままにしておくのか不思議です。

そりゃあ「あの店のカレーはいくらだっけ？」は、まあ分からないままにしておいても、あまり支障はないでしょう。でも、薬剤師国家試験を受ける人間にとって、その試験範囲の内容が分からないままでは大変なことになってしまいますよ！。だって、その分からないことが出題されたらどうします？。「でも1つくらい分からなくても……」という方、1点足りなくて不合格になる方が何人いると思います？。山のようにいるんですよ、ホント！言っておきますが薬剤師国家試験、40点、50点足りなくて不合格、なんて方は極めて少数派です。ほとんどの方が1～5点足りなくて不合格なんですよ。よく「1点足りなくて」なんて自慢げに言う方がいますが、そんな方がゴマンといることを忘れずに！

「私はもう少しで合格だったのよ、惜しかったのよ」と言いたいかもしれませんが、「じゃあなぜ、そのもう少しを頑張らなかったの？」と、ついつい思ってしまう。180点、190点、それ以上の点数を取る人たちが、どんな勉強をしているか知っていますか？。「1つ理解して1点」「1つ覚えて1点」という具合に、1点1点取ることに時間をかけてじっくりと、しかし確実に取っていらっしゃるんですよ。

昨年度、このコーナーを執筆していらっしゃいました加原先生も「240点満点を取らなければならないワケではありません。しかし、合格ラインを超えるだけの学力は必要ですよ。そのためには“1点1点しっかり取っていく”こと以外に方法はありませぬ」と、1点を確実に取っていくことの重要性を述べておられました。その通りだと思います。「1つくらい分からなくても」という気持ち

でいると、残念ながら、今以上の成績UPは望めないでしょう。「1つくらい分からなくても」ではなく「1つでもいいから理解しなきゃ・覚えなきゃ」というのが受験生の本来あるべき姿であることを忘れないで下さいね。

“分からないことを放っておくこと”の中でも、特に気になるのは「分からない言葉を、分からないまま平気で使っている」ということ。質問に来る学生さんに、いろいろと説明しながら「コレはどういう意味？」と言葉の意味を聞いてみると「……」。アレ？。さっき、この言葉を使っていたような……。で「さっきこの言葉使って答えていたよね？。意味分かってるんじゃないの？」と聞き質すと、返ってくる答えは「何となく……」。コレなんですよ、怖いのは。何気に大きな落とし穴なんです「何となく分かっている」というのは。

学生さんを指導していると「何となく(分かっている)」という言葉をよく聞きます。はっきり言いましょ。 「分かっている」とは「具体的に分かっている」こと

であり「何となく分かっている」は「分かっている」ことなのです。なぜなら、試験対策においては“分かっていること”と“分かっていること”の2つしかないからです。

だから、「分かっている」≠「何となく分かっている」=「分かっている」ということになります。“何となく分かっている”は“分かっている”ということですから“何となく分かっている状況”を続けていることは、結局は“分からないことを放っておいている・分からないままにしている状況”にあるということになります。

確かに、“分かっていること”があるということは、試験対策において不安を伴うことでしょう。だから“何となく分かっている”と、分かっているような気になって逃げてしまう。“分かっているような気になる”こと

薬塾の学習指導

は、試験対策にとってはとても危険なことですし、“分かっているような気になっている”を“分かっている”とすり替えることは、もっとも危険なことなのです。

「何となく分かっているは、分かっていること」。この事実から目を背けている限りは、ずっと“何となく分かっている状況”つまり“本当は分かっている状況”が続くことになり、「分かっているような気になってはいるが、本当は分かっている」わけ

ですから、当然成績も停滞してしまい、今以上の成績UPも難しい状況に陥ってしまいます。

「でも、分かっていることがたくさんあって、……どうすればいいの？」という方。そんなに不安がる必要はありませんよ。簡単なことです。1つひとつ理解して“分からないこと”を“具体的に分かること”に変えていけば良いだけです。

「そんなことしていかなければならないんですか？」。そうですよ。だってそれが“試験対策”というものなんですから(笑)。忘れないで下さいよ。皆さんは“薬剤師国家試験受験生”なん

ですからね。受験生たるもの、試験内容を1つひとつ理解して

身につけていかなければならないのは、当たり前のことです。少なくとも、合格したいという人にとっては……。

学習の指導をしている時にも「勉強している？」と聞くと、「何となく……」と答える学生さんがいます。「ああ、勉強していないんだな」と、チョット悲しくなります。何事も“具体的”でなければ進みませんからね。ですから、「そろそろ、卒業試験も含め薬剤師国家試験対策を始めなきゃ」という人、具体的に学習計画を立てたほうがいいですよ。「そろそろ始めようかな」だけじゃ、いつまでたっても始まりませんから。

どうですか？。具体的にできれば、物事が進まないこと、分かっていただけでしたか？。「何となく分かりました」という人……もう一度ははじめから読み直してみましょうか(笑)

分かったような気になってはダメ

私たちは、ワタキューグループの一員です。

フロンティアは全国に135店舗の調剤薬局を展開しております。

「心」を社とする医療、福祉、健康関連企業であるワタキューグループの一員として、調剤だけにとどまらず、栄養相談、居宅支援まで患者様のニーズに幅広く応える

「トータルケア」を基本に、心温まる薬局サービスを目指しています。

患者様に信頼される薬のスペシャリストとして、フロンティアとともに学び、成長し、

私たちと一緒に新時代の薬局を築いていきませんか。

全国135店舗・関西63店舗
(2008年3月現在)

私たちと一緒に働きませんか？

店舗見学同時開催 **会社説明会** 平日も開催

毎週土曜日開催!

採用フリーダイヤル **0120-89-7060**

ホームページ <http://www.frontier-ph.com>

株式会社フロンティア

ワタキュー薬局 フレンド薬局 ワタキューフジタ薬局 フォレスト薬局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪MTビル2号館14階
TEL 06-6396-8100 FAX 06-6396-8101 E-MAIL soumu@frontier-web.jp